

教会のひとこま — 秋の教会 —

運動会

運動会の種目で何が一番好きですかと尋ねたら、フォークダンスのマイムマイムと答えてくれた方が、意外に多かったです。「あなたがたは喜びながら救いの泉から水を汲む」という聖書の一節が歌われているからです。その通り、喜びの沸き上がる運動会でした。



マイムマイム



リレー



玉入れ



パン食い競走

宝塚栄光教会のクリスマス

クリスマスの本当の心を知ると、クリスマスの過ごし方が変わっていきます。今年のクリスマスがあなたの心の中に豊かに留まりますように祈りを込めて・・・。

すべて入場無料

12/23(金・祝) 19:00～21:00

ベアンテ・ボーマン
チェロコンサート



12/24(土) 17:30～18:30

逆瀬川駅前
キャロリング



12/24(土) 19:00～20:00

クリスマスイヴ礼拝



12/25(日) 10:30～11:40

クリスマス礼拝

第41回 阪神クリスマスフェスティバル

12/16(金)

18:30 OPEN
19:00 START

入場無料

於・西宮市民会館
アミティホール
メッセージ&チェロ演奏
ベアンテ・ボーマン

託児・手話通訳あり



Gloryカレンダー 今年も作りました!

昨年初めて製作しましたGloryカレンダーでしたが、私たちの心配を吹き飛ばすかのように沢山の喜びのお声をいただき、感動ひとしおでした。2017年の一年を始める最初のページからGloryカレンダーをお薦めします。

お申込方法 一部700円

お名前、ご住所、ご連絡先を教会までお知らせください。連絡先は下部をご覧ください。

好評販売中!



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com

http://www.takara-eikou.com

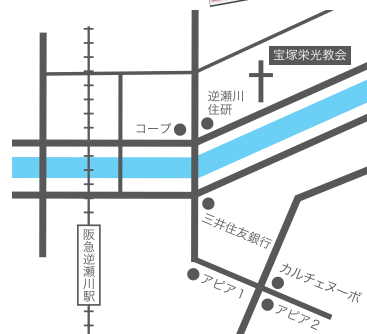
わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。

希望のダイヤル

毎週更新。24時間つながります。

0797-77-3746

ポッドキャストでも配信!
ホームページから利用できます。



羊飼いであるキリスト

旧約聖書の詩篇の中で、表現や文体が最も美しいと言われている23篇を、ご存じでしょうか。その書き出しはこうです。「主は私の羊飼い。私は、乏しいことはありません。主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。」いかにも牧歌的な、美しい文章ですね。

羊は臆病な動物だとよく言われます。以前、牧場に行ったとき、羊たちが10頭ほど集まり、身を寄せ合って体をふるわせているのを見ましたが、その様子は、いかにも臆病そうに見えました。また1頭が走り出すと、他の羊たちも同じ方向に走り出すところも見ましたが、付和雷同というような印象を持ちました。

羊は、羊飼いなしで、自分たちだけで生きていくことはできません。良い羊飼いが、愛情を注いで、また責任を持って群れを養っていかねばなりません。私たちは羊のようなものです。ちょっとしたことで怯え、動揺します。人の声に惑わされて闇雲に突っ走ってしまいます。私たちにも羊飼いがが必要です。私

たちのことを本当に理解し、愛し、責任を持って導いてくれる良い羊飼いが必要なのです。

イエス・キリストがその良い羊飼いとなってくださいました。キリストは、私たちをよく理解し、私たちの弱さを思いやってくださいます。またキリストは、私たちを限りなく愛してくださいます。ご自分の命を十字架にお捨てになるほど、私たちを愛してくださいました。そしてキリストは、私たちを最後まで導いてくださいます。たとい私たちが失敗の多い、悟りの鈍い者であっても、決して途中でお見捨てにはなりません。

キリストは、私たちに必要な良質の牧草地に、またきれいな泉に伴ってくださいます。この羊飼いキリストのもとにいるなら、乏しいことはありません。キリストの十字架を信じて、罪が赦されて、魂に平安と喜びが与えられ、周囲の環境や置かれている状況がどうであれ、満足することができるのです。

あなたも、ぜひこの良い羊飼いであるキリストのもとにおいでください。キリストのもとに来て、失望させられる人は一人もいません。



「秋の乗鞍」

澄み渡った 青空だった
空気が 透きとおっているようだ
とてもやわらかく 感じる

風は少し 肌寒い
乗鞍高原 一の瀬園を歩く

乗鞍岳 標高2700mの 山頂あたりから始まった 紅葉ラインは
山の中腹へ移って 色づかせ
やがて 乗鞍高原全体を 紅葉に包み込む

カエデ ウルシ類 ヤマザクラ ミズナラ
それぞれの木の葉の 色の変化を 楽しみつつ歩き巡り
ミズナラの木の下の どんぐりを
何か大切なものを 拾いあげるような 気持ちになって
たくさん 集めてみたり
秋の日の一日 童心になって 心が洗われていく

2週間も 木の枝に 留まっているだろうか
紅葉した葉は 次々と枯葉となって 地面に落ちていく
長い冬で 閉ざされている間 静かに土に帰っていく

まもなく 雪の静寂の時間となる
豊かな 育くみの期間でもある

あなたがたは 朽ちる種からではなく 朽ちない種から
すなわち 神の変わることはない 生きた言葉によって
新たに 生まれたのです

Iペトロ1章(聖書)